

開催月日 : 令和6年3月28日(木)

第2回 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
介護・医療連携推進会議 議事録

司 会	藤崎 芳子	書 記	藤崎 芳子
2023年度第2回介護医療連携推進会議が港ステーション研修室にて11:00～12:00開催された。			
【ご参加者】			
麻布地区高齢者相談センター 1名			
芝地区高齢者相談センター 1名			
訪問介護事業所 1名			
グッドライフケア港居宅介護支援センター 岩木貴代			
グッドライフケア訪問介護港 川岸寛史			
グッドライフケア24港 森本修平			
グッドライフケア24港管理者 藤崎芳子			
1. 開会の挨拶 参加者の自己紹介			
民生委員野村様、訪問看護事業所は都合がつかず資料にて照会とする。			
2. 運営状況報告			
資料をもとに2023年9月から2024年2月までの運営状況報告を行う。2023年5月にサービスが終了後、利用者はない。			
現在の稼働件数は0で新規のご依頼も無く定期巡回訪問介護看護のニーズが少ない。要因としては訪問介護の事業所を変更しないで			
継続したいとお申し出が多くあります。代替のサービスとして夜間対応訪問介護サービスをご利用される方が多く			
定期巡回訪問介護・看護のご利用が少ないと考える。			
3. 事例紹介			
短期間のご利用でしたが状況に応じて柔軟に対応する事が出来た。また、看護と連携を取りながらご利用者自身が希望されていた自宅での生活を穏やかに最後まで過ごす事が出来た事例である。詳細は別紙資料を参照とする。			
4. 新規の依頼について			
他区の利用例を案内するなど具体的にイメージが持てる様に広報の工夫し地域に貢献できる事業所となる様に努力する。			
5.自己評価、外部評価について			
一部項目抜粋する			
①専門技術の向上のための取り組みについて「管理者と職員は当該サービスの特徴及び事業所の理念についてその内容を十分に認識している。」「この項目だけ「ほぼできている」となっている理由はなぜか？」			
また「年間研修は計画に基づいたものか？」			
【回答】研修は年間研修計画に基づき個別研修計画、期首の研修目標設定を行っている。			
また「ほぼできている。」と回答したのは職員の理解に違いがあり、理解不足の職員が全て理解できた時に「できている。」と回答すべきと考えた。			
②「管理者はサービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮される様、配慮している。事について技術力についてはどの様に把握しているのでしょうか？」			
【回答】入社後、定期的な集合研修でスキルチェックを行う。また、同行訪問時のスキルチェックを行い、モニタリング報告、他事業所からの意見を参考にしている。			
③「利用者の24時間の暮らし全体に着目した介護、看護両面からのアセスメントの実施。利用者の1日の生活リズムに着目したアセスメントが実施されている。このことについての根拠となるものは何処に記載されていますか？」			
【回答】アセスメントナースから「アセスメント・モニタリングシート」報告あり。事業所で使用している管理ソフトにデータ保管をしている。			

④「介護、看護両面からのアセスメントが適切に実施され両者の共有、突合などが行われている。とあるが突合した根拠となる資料や記録はどこに記載されていますか？」
【回答】自社共有システムに保管している。変更が必要な場合はケアマネに報告している。自社ケアマネの場合は共有システムを活用し他社ケアマネはFAX、メール等により相談し共有システムに保管をしている。
⑤「利用者の心身の機能維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の設計の作成が志向されている。」の項目で
「利用者の心身機能維持回復のために自立を視野に入れた計画作成を心掛けている」と回答。この回答について
「ターミナル期や難病の方でも同様ですか？「自立」という文言が気になりました。」と質問あり。
【回答】自己決定も含めて広義の意味で「自立」と考えている。例えば使用したいタオルの選択、身体の向きの選択なども含めて考えたので「自立」という言葉を使用した。
⑤「議事録は公開されていますが他区は年2回分に対し港区は年1回分しか公開されていないので改善が必要です。」
【回答】2回分の公開実施し改善する。
⑥「行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している。
の項目に対してどの様に理解・志向されているのか貴事業所の役割の明記が必要かと思えます。」
【回答】年齢を重ね、医療や介護がなければ生活できなくなった時、「住み慣れた自宅で暮らす」という選択を諦めることが
当り前の今があります。豊かな社会を実現するには、「人生最後の選択」はもっと自由であるべきです。自宅で介護を受け、自宅で
最期を迎える生き方を、もっと簡単に選ぶことができる。それを当り前にするために、私たちは挑戦し続けます。
(弊社ホームページより抜粋)
⑦「組織の体制が不安定であると感じています。」
【回答】不安定と感じる事が無いように組織作りに注力しています。まだまだ未完成ですので地域の皆様に認めて頂けるまで
チーム一丸となって全力を尽くしてまいります。
⑧「全て貴社を利用する事により利用者の課題が発見されにくく対応困難事例となっている事をよく見かけます。」
【回答】介護事業所として回答をさせていただきます。他社からの転職者の話をよく聞いて参考にし事業所の改善に努めています。
また自社内の他事業所と具体的な意見交換をしています。(看護に助言を求める。看護からの指示を貰う等。)気になる利用者が
いたら不定期にミニカンファを開催し課題の共有、課題に対する対策を検討して、実施し、評価、リアセス等取り組んでいます。
⑨「職員の入職、退職が良くある為、なかなかお願いしにくいと感じるところもありますが、既に貴社サービスを使うと想定されるときは
積極的に予防も含め受けて頂きたいと思えます。」
【回答】2023年7月より介護部の研修制度を手厚くした結果、2023年7月～2024年3月までの入社者17名に対して14名在籍しています。
退職者3名の内、地方に転居した職員が2名、体調不良による勤務不可能者が1名となっています。転居以外の退職者1名が
ご指摘頂いている結果と考えておりますので2年以内の退職者が0となる様尽力いたします。
6.民生委員野村様からのご伝言
1. 単身世帯調査について
昨年の暑い最中の実態調査をさけるため、前倒し5月から調査を開始します。何卒ご指導を宜しくお願い申し上げます。
(1)皆様にお世話になる高齢者は徐々に増加しています。調査対象の65才以上の人口は増加の一途。
(2)港区人口(265,572人／2023年7月)で65～90才の人口は17%。(2024年7月)
(3)麻布全体の高齢者数は、高輪支所に続く2番目に多い。
(4)東麻布地域の高齢者も増加中。介護を必要とする高齢者も増加中。近くの高齢者もお世話になっております。
今回の会議は令和6年の9月を予定しています。開催方法、開催日時は構成委員の皆さまには改めてご連絡致します。